

保母となりし最初の一週
間 (承前)

十一月五日 火曜日 雨天

觀察事實 午前八時半出席しました。幼児はも
来て居て、先生御早うと挨拶しました。一日のこ
とで顔を覺えたのかと、實に驚きました。幼児だ
からとてなかく／＼にあなどれぬもの哉。よく小供
は鼠の様なものだと思しますが、保母たるものは
大理石に彫刻する決心を以て一槩一槩でも忽に
は出来ぬことをふかく覺悟して、この感受力の強
い幼児に對さねばならぬと思はれました。それか
ら遊戯室で鬼事をしました。小供は案外に体力も
進んで居ると見えまして、いくらでも續けて居ま
す。轉んでも少々他人と衝突しても平氣でありま
す。見て居る自分が冷汗を流して泣きはせぬかと
心配しましたか、全く無用でありました。そんな
心配するよりも鬼になつてやつた方がよほど幼児
の興味を増させるのであることを悟りましたか
ら。随分走り廻りましたが、大分つらひものであ

ります。身体が弱くは勿論駄目でせうが、餘り
肥満して居るのも保母としてはよろしくない様に
考へます。

飛蝶の様に飛び狂つて居つた幼児が、鐘の一聲で
一生懸命にお室へ走つて行きましたので、一寸吃
驚しました。これか 即先生の御訓練の然らしむ
所とやら／＼氣がついて遂には自分等の平生か
恥しくなりました。子供は教師の教師なりとはよ
く云つた言葉であると同時に、小供は教師の反影
である は千古の金言であるとふかく感じまし
た。

會集後にお室で發聲の練習がありました。耳がよ
く發達して居るので又々一驚を喫しました。外遊
か出来ぬために室内で繪草紙を見せてやりまし
た。一般に靜的の繪よりも動的の繪が氣に入る様
であります。人が居てもたゞ立つたり坐つたりし
て居るのみでは眼もくれずに次を見んといふ。軍
をして居る所とか御話をして居る所とか獵をして
居る處とか關係的活動を表はしたものは大喜し
て、いろ／＼發問する様であります。これ即幼児

の活動性の然らしむる所かと思はれます。

○捨子金子○○の兩兒は最も早くわいた様子で席て立つて悪戯をして居りました。畠山と小林桐島の三兒はいつまでも興かつて居ります。之の發問なとより見ると連想が随分發達して居る様であります。

實習科の方の唱歌かありました。よく慣れて居られることが薄々なから見える様になりました。板排への時に有坂がよほと興かりましたから、何か一番好きかと尋ねますと板排でありますと答へました。その製作物は四種もありました。畠山は第一番にわいて後いいてあくびをして居ました。何かと聞けば無言のままさまり悪るそうに下を向いてしまつた。氣か弱いからいやになつたと明言し得ないのだと推察しましたから、下の如くに云つてやりました。あなたは早く出來上りましたから、中島愛子さんの御手傳ひをしてあげて下さいと。それか轉氣になつたのかよく丁寧に世話をして橋を二人で作りました。中島愛子は形態上の思想がよほど幼稚らしい小林は最も複雑なる形

体を作り出した。金子は桐島にかはつて自分のものは二つしか作りませんでした注意を一點に集めることが出來ぬらしい。放課後遊戯の教授を受けました。

所感 幼兒につきてはなか／＼あなどれぬものがある。身心共に充分なる潜勢力を持つて居て割合に強いものであると思はれました。殊に著しき性質は活動して寸時も止まることが出來ず、從つて變化を好み等閑を嫌ふことであると考へます。自分は從來カントの認識論やソクラテス流の世界觀人世觀が好きでありました。又無意識なからその立論に適する様な生活をして來ましたから、フレーベル先生の人間論は人性の一面の眞理をあげて居るのみとしか受取れませんでした。

フレーベル先生の哲學思想はよほど神秘的でありますから、夏休暇に原語の拾ひ讀みをした位では、了解出來様筈はありませんが、まゝ大體をとつてしまめば、人間の本性は決して認識にあらす活動なりといふ一句に歸する様であります。人は知らんとするよりも寧ろ行はんとするものであるとのこ

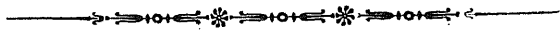
の根本思想は先生の教育の根底となり幼稚園保育の基礎となり恩物作業の起る所以であるらしい様です。

今度幼児に接して見ますと、これが如何にも思はれました。幼児には好奇心がありまして事物を知らんといたしますが、その認識のしかたが大人のそれと大に異つて居ます。自分が受身になつて静かに知るのではなくそれ等の事物を材料として充滿せる活動力を使用せんために認識をするのであります。故に幼児の認識は主観か主であつて客観は單に主観のために使役せらるゝに止まつて居ます様であります。これ等の事實より歸納して見ますとフレーベル先生の御説は小さくも幼児に對しては眞理であるかと合點せねばなりません。幼児からその活動を除去すれば、如何に營養物を供給しても、衣服住居を完全にしても、玩具を山の様に積み立てても、幼児の生活は保つことが出来ぬかと思はれます。畢竟其食物などは幼児の活動する勢力を興へる必要品であるのみで御座います。衣服住居はその活動状態を保護助成する道具である

のみ、弄具は幼児の潜勢力を活動に誘導するためのものであります。目的は活動にあるのであります。又活動は幼児の生活の目的物なると同時に、幼児發達の手段であります。走しり廻り飛び狂つて居る中に、その身心を發達せしめて人となるのであります。故にこれ等を概括して見ますと、幼児の生命は活動にありといはれます、幼児があき易い性質もよほどの活動性と關係して居るならんと思はれます。即單調な刺戟は活動力を多く使用することが出来ませぬ又同じ刺戟が永續しますとそれに対する幼児の活動力は時間に逆比例して減します處から、幼児は兎角變化を喜び等閑を忌避するのではなからうかと思ひますが心理學を知りませんから間違ひかも知れません。(?)この呼吸をよくく呑み込んで置きませぬと、不慣れてありますから手杖の時には随分失敗をなし易いのであります。幼稚園敎生として勉むべき事は澤山あり技術としての練習も多く遣らねばなりません。いか、要するにそれ等の歸する所はこの呼吸を覺えるにあること、存じます。

十一月六日 水曜日 晴天 但し空寒く風は強し
 観察事實 氣候のせいかな鼻汗を出し 居るものを
 初めて見ました。しかし元氣は旺盛でありました。
 子供は風の子とはよく云つた言葉であります。小
 山の上から風の吹く方向に走り降りて平氣で居り
 ました。中には汗を額ににじまして居るのもあり
 ます。幼児が走るときには大抵口を開いて居る様
 でございますが、そのまゝで風に向つて走らすこ
 とは喉頭鼻腔の衛生にはよろしくない様だと思ひ
 まして、砂場へつれて行きました。口を結んで走
 る様に訓練したきものなりと考へました。砂いじ
 りは男女兒共に好む様子で御座います。ヘルバル
 トの文明的的階段とやらの筆方で説明しますと、
 今幼兒等は吾々祖先の土焼きを工夫したので繰返
 して居ると云はねはなりません、人類か陶器を
 焼く時代は石器時代よりも進歩して居るのたと聞
 くからには、この幼兒も大分進歩發達して居るの
 であるかと思つて居る中に會集の鐘かなりまし
 た。外遊になりますと女兒三人男兒一人か手や袖
 を引張つて藤棚の下へつれて行きました。落ちた

る藤の葉柄を捨ててゲジ／＼や籠を編んでやりま
 した。女兒は一心に手技か上手で又好む様であり
 ます。中には自分で作らんと努力するものもあり
 ましたがゲジ／＼の足二本を作り上げたのみで、
 それより後は同一の方法を反復すればよいのに思
 想か混亂すると見えまして誰一人も全体を編み上
 けることをしませんでした。それから實習科の方
 の談話と箸環を拜見しました。談話はよほど成功
 せられたかと思はれます。先づお話しぶりが老婆
 的にお言葉が幼兒的で調子がよほど實際的で喜の
 時には喜のお聲を悲の時には悲のお聲を使はれ
 て、事實そのまゝを寫されました時には手話も表
 情的態度も用ひられよく幼兒固有の言語習慣を吞
 みこんで居られた上に話の進行が具象的でわかりま
 した。例へば或る田舎の小山といふ代り道灌山云
 々といはれました。一体幼兒といふものは時間空
 間の觀念が至つて發達して居りませぬから、それ
 に話す談話なども時間空間の制限をはなれてアル
 時アル田舎といふ風にいふ方が幼兒の想像を自由
 に働かせ興味を起させるを大なりといふ説を聞い



た事かあります、これは昔の類には適當であつて、昔々ある處等の類語か幼児を導いて過去人類の思想に到達せしむるに効がありませうか、今日の教材の様に衆のお話をされるには如何にしても今日せられたごとく時間空間を實際的に具象的にやつてはしいものかと存します。

所感 幼稚園の建物とその周圍につきて
幼稚園の建物は實に頑丈に出來ております壁でも大した厚さでありませす。即堅牢美をそなへて居ませす。それが幼児の身心に大なる良影響を及ぼすことと存します。壁の厚さといふものかよほど室内の氣温調節に關係ある所で御座いますから、東京の様に氣候が急變し易い所では是非あの様な厚さの壁を持つて居る幼稚園が必要かと思はれませす。又頑丈な建物の中に居りませすと自然にしっかりとした落付いた氣性になるもので、風ふけば飛ぶといふ様な建物は如何にしても輕々しい品性を作る様です、ひが目か知りませせんが東京市中の家は地方のより頑丈でなく云はいキヤシヤに出來て居る様で御座いますから。幼稚園か堅牢である

ことは一層よろこばしいかと思ひませす。それから堅牢であると美的なのであります。破損や修繕が多くて壁や天井などが新舊色を異にして戸の開け閉ぢも自由でないといふ家屋では、清潔にしたり裝飾するの勇氣がませせん。幼稚園か古色を帯ひて泰然自若として居るのはよほど意味深いものかと思ひませした。又幼稚園は堅牢美の外に質素美清潔美を持つて居ませす。

か室へ行さませすと學校では決して見ることの出來ない様な、額や圖畫や花や保育用具を秩序正しく澤山飾つてあります。その飾りかたか幼児らしく實に淡白で單調で明瞭で清潔であります。繪畫などはよく解りませせんが、純粹の美を表はし肺病的美術や神經病的の美は一寸入れてない様です。臚體の美術なども近頃は流行する様ですか、幼稚園では一切明瞭體の畫をかけてあります。それから浮世繪の代りに歴史畫を用ひ骨董的盆栽の代りに自然の挿花を持つて居ります。

春風の良感化を興へるには此の様に無意識的美的境遇を作らねばならぬことと存します。

次に周圍につきて申して見ますと、まづ道路に接した方には随分高い澤山の常緑樹があります。文明のお蔭で電車や車の音がガタ／＼チン／＼と實にやかましい此の處では、子供が大變イラツ様になつて、神經を痛め易いと思はれますから、落付きのある常緑樹を周圍に澤山植えてゐることは甚たよろこばしいことゝ存します。それは外來の塵を防ぐことか出來ます上に、いろ／＼の鳥も來ますから、自然に近くなつて幼稚園保育の目的に適ふ様で御座います。それから眼のためにも甚たよろしい近頃は壁色の研究もやかましく間色の中でも緑が第一番だといつて居る人もあります。それで常緑樹をなほ澤山植てほしいと存じます。それから庭も廣う御座いまして、山もあれば花壇もあり砂ほり場もあれば鶏小舎もあり小石もあれば草もあるといふ風で、まことに結構であります。今日も鶏の白いのが頭をつゝかれて居たのを幼児が見てよほど同情を起した様であります。これ等の設備は皆幼児の誘導に資するのでありますから、なほ完全にしてほしいもので御座います。

例へば自由園を多くして幼児勝手に草花を植えることの出來る様にし池も作つて魚を入れてほしいものです。ヘルバルトの文化史的階級の説明を待たなくとも幼児は實際草を植へたり舟を弄具にしたり魚を捕つたりすることは大に喜ぶものです。私の経験によりますと幼時には船が一番好きでお庭の泉水へかまぼこ板の舟を浮べて遊ひましたのか第一に樂う御座いました。水遊びも大好でありました。幼児には骨蒸的美術心の發達して居る筈はありませんが、無邪氣な美術心はよく發達して居ると見えて、割合に見分をつけます。故にわれ等教生も大にその點に注意すべきかと心附きました。幼稚園には土佐派流の松なけれど廣い芝生があつて蓮花草も嫁菜もすみれもその中に咲いてその上で坐せたり走らせたりしたいものなり小石の布きたる所では轉ふとすりむく恐れかわりません。今日も中島愛子が輕傷しました。幼児と美に關しては次の注意も必要である様に思ひます。教生は風彩や音聲や顔付を美ふして愛嬌の自然表出法などを研究してもよい。と